

**富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】実行計画
進捗状況一覧【令和8年3月末現在】**

(1)ヒト

①職員の意識改革・人材育成の推進

実施項目	1. 能力と実績を重視した人事評価制度の活用				
担当課	総務課				
取組内容	人事評価制度により、職員が発揮した能力や挙げた実績を公平に評価するとともに、評価結果は、異動・配置転換その他の人事管理並びに人材育成及び能力開発に活用することで、職員の士気及び公務能率を向上させ、組織の活性化・効率化を図る。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	推進	→	→	→	→
実施	推進	→	→	→	→
進捗状況	【総務課】 《令和3年度～》 人材育成の手段の1つとして、人事評価制度に能力評価と業績評価を導入し、人事評価制度の効果的な活用を行うことで、職員の士気及び公務能率を向上させ、主体的な職務の遂行、業務の改善、組織の活性化・効率化を図る。 《令和4年度～》 令和4年6月期の勤勉手当から、人事評価結果を活用。 《令和5年度～》 5級職(係長級)及び6級職(課長補佐級)への昇格候補者試験を導入する中で、可否の判断に人事評価結果を活用。また、分限処分への活用についても、調査・研究を行っている。				

実施項目	2. 職員研修による能力開発				
担当課	総務課				
取組内容	多様化・複雑化する市民ニーズや行政課題に、柔軟かつ適切に対応できる職員育成のために、OJT(職場での実務・実践を通して行う教育訓練)の実践による職員の能力開発や意識改革を進めるとともに、各種研修の充実を図る。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	推進	→	→	→	→
実施	推進	→	→	→	→
進捗状況	【総務課】 《令和3年度～》 OJTによる人材育成を推進するとともに、効果的な研修の選定・実施や研修機会の情報提供等を通じ、職員の能力開発を行っている。 《令和4年度～》 令和4年度より、人事異動により新たに係長に昇格となる職員に対して、係長職に求められる役割やリスクマネジメント等についての研修を実施した。 《令和5年度～》 人事評価者研修について、実施時期を12月から8月に早めることにより、当該年度の人事評価に活用できるよう改善を図った。 《令和6年度～》 係長職になる前の中堅職員に対して、職場で求められる役割や中核人材として活躍してもらうための「中堅職員研修」を新たに実施した。				

実施項目	3. 組織・機構の見直し				
担当課	総務課				
取組内容	階層による役割や責任の明確化などの執行体制に関する課題を分析し、今後の人口減少を踏まえた組織の適正化を見据え、限られた人員を効果的に活用できる行政組織を編成する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	推進	→	→	→	→
実施	推進	→	→	→	→
進捗状況	【総務課】 《令和3年度～》 組織機構のコンパクト化を基本としつつも、多様化する市民ニーズや市の抱える行政課題への対応、重点施策の実行に向け、機能的な組織体制の構築に取り組んでいる。				

実施項目	4. 職員定員適正化の推進				
担当課	総務課				
取組内容	組織・機構の見直しと整合を図った中で、必要な新規採用職員を採用するとともに、再任用制度や任期付職員制度を活用しながら、行政サービスの提供に必要な職員数の確保を図る。 また、今後の組織運営を考慮し、職員採用の方法や定年延長を見据え、年齢構成の適正化を図る。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	計画見直し	推進	→	→	→
実施	計画見直し	推進	→	→	→
進捗状況	継続	【総務課】 ＜令和3年度＞ 職員数の適正化を図るとともに、再任用制度や任期付職員制度等、多様化する任用形態を効果的に活用し、行政サービスの提供に必要な職員数の確保を図る。 ＜令和4年度＞ 令和4年6月に新たな「定員適正化計画」を策定した。 ＜令和5年度＞ 職員採用について、必要人数の確保を図るため、実施時期の前倒し(9月→7月)やオンライン申請の導入、土木技術職の初級試験を実施した。 ＜令和6年度＞ 職員採用について、年度途中の採用を可能とするとともに、受験者の負担軽減による受験者数の確保を図るため、一部の筆記試験については専門試験を廃止した。			
	新規	【総務課】 ＜令和7年度＞ 職員採用について、経験者採用枠を設け、即戦力となる職員の確保を図った。			

実施項目	5. 業務改善の推進				
担当課	経営改革・DX推進課、各担当課				
取組内容	課ごとにテーマを絞り、改善できそうな業務を集中的に検討し実施するとともに、庁内会議や資料作成などの共通業務については、統一的なルールづくりを行うなど、仕事のやり方の改善に向けた検討を行う。 また、過剰な時間外勤務を抑制するため、勤務命令権者の管理・監視体制を強化させたいと、部内・部外職員の相互応援制度を有効活用し、年度内における事務の繁閑差を調整する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	継続	【総務課】 ＜令和3年度＞ ・時間外勤務削減のため、全ての職員の時間外勤務状況を把握するとともに、必要に応じて所属長に対し、原因の分析や対応策についてのヒアリングを実施した。 ・申請書等への押印について、行政手続きにおける利便性の向上及びデジタル社会への対応を図るため、原則廃止とする見直しを実施した。 ・印刷コスト削減のため、会議資料部数を見直し、庁議資料がそのまま全員協議会等で用いられる場合は、改めて印刷しないこととした。 ・突発的な行政需要の増については、一時的な人事異動や応援職員配置等により柔軟な対応を実施した。 ＜令和4年度＞ 過去の実績や事務の最適化、職員の働き方改革などの観点から、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)の天羽行政センターの日直業務を廃止した。[令和4年12月29日～] 【管財契約検査課】 ＜令和3年度＞ 契約書に添付する図面をA1サイズからA3サイズに変更し、図面袋・背マクラの経費節減及び事務負担の軽減を図った。 ＜令和4年度＞ 原則、取り止めとしていた競争入札における一者入札について、入札不調の発生状況を鑑み、一般競争入札における一者入札を有効とする入札約款の改正を実施した。[令和4年4月～] ＜令和5年度＞ ・同一工事で開札日が同日であるなどの一定の要件を満たす設計金額が1,000万円を超える建設工事の入札において、品質の確保等を目的とする「一抜け方式」を導入した。[令和5年4月1日施行] ・事務の効率化を図るため、他団体の状況等を踏まえ随意契約することができる予定価格の見直しを実施した。[令和5年4月1日以降の契約から適用] ＜令和7年度＞ 令和7年4月1日付で地方自治法施行令が改正され、建設工事の請負に係る随意契約可能金額が130万円以下から200万円以下に引き上げられたことから、富津市随意契約ガイドラインについても随意契約可能金額に係る改正を実施した。[令和7年4月1日施行]			
	新規				

進 捗 状 況	継 続	【経営改革・DX推進課】 《令和4年度～》 資産経営課(現:経営改革・DX推進課)で契約しているレーザープリンタ(7台)のリースアップにあたり、プリンタを複合機に切り替えるとともに、設置場所を見直すことで、業務の効率化や印刷経費の削減を図った。 《令和6年度～》 各担当部署で契約していた本庁・保育所・地域交流支援センター・消防防災センター・消防署天羽分署に設置していた複合機(23台)及び令和7年3月から供用開始となった共同調理場の複合機について、次期契約の締結にあたり、資産経営課(現:経営改革・DX推進課)において一括契約を行い、業務の効率化や印刷経費の削減を図った。
		【市民課・国民健康保険課】 《令和3年度～》 来庁者が呼び出し番号をモニターで確認できるシステムを導入し、市民サービスの向上を図った。 また、モニターに広告表示を行うことにより、導入費用及び維持管理費用を設置事業者負担とすることで経費の削減を図った。
		【国民健康保険課】 《令和5年度～》 国民健康保険及び後期高齢者医療制度の短期人間ドック費用助成並びに国民健康保険の加入・脱退の届出について、書面による申し込みに加え、LoGoフォームによる電子的手続きを開始し、書類を書かずにインターネット上から申し込みが可能となったことで、これまで郵送で申込書・届出書を送付していた経費を節減するとともに、発送作業に係る時間を削減した。[国保・後期人間ドック:令和5年10月～ 国保加入・脱退の届出:令和7年2月～]
		【市民課・課税課・天羽行政センター】 《令和3年度～》 非接触レジ及びキャッシュレス決済を導入し、市民サービスの向上、感染症予防及び業務の効率化を図った。
		【保育課】 《令和5年度～》 ・保護者及び保育士の負担を軽減するとともに、衛生面に配慮するため、市立保育所における保護者による使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止した。[令和5年11月～] ・保護者の負担軽減を図るため、希望する保護者に対し、紙おむつを持参せず、毎月定額の利用料を支払うことで直接業者から市立保育所へ紙おむつが届けられるサブスクリプションサービスを開始した。[令和5年12月～]
		【会計課】 《令和3年度～》 ・契約伺い等の起案と同時に支出負担行為票を起票することで、伝票起票の遅延防止及び事務の効率化を図った。 ・支出伝票の取扱いを見直し、支出負担行為兼支出票で起票できる経費については、出納整理期間内でも同様の取扱いを行い、伝票枚数の削減や事務の効率化を図った。

実施項目		6. 民間活力を活用した行政サービスの向上				
担当課		経営改革・DX推進課、各担当課				
取組内容		民間によって同種のサービスが提供されているものや、民間がサービス提供主体となった方がより効率的・効果的であるものなど、民間でできることは民間に委託することで、行政サービスの向上を図りつつ、組織及び人員配置の合理化を図る。				
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		検討	検討・推進	→	→	→
実施		検討	検討・推進	→	→	→
進 捗 状 況	完了	【経営改革・DX推進課】 《令和3年度》 峰上出張所、金谷連絡所及び関豊連絡所の廃止の代替手段として、日本郵便㈱への包括事務委託を検討し、令和4年4月から業務委託を開始した。				
		【教育総務課】 《令和4年度～令和5年度》 各小学校に設置しているプールは、一斉に更新時期を迎え、施設の老朽化に伴い多額の修繕費・改修工事費が見込まれることから、自校プール施設の不具合により利用できない2校(富津小・吉野小)については、過去2年間、民間プールの有効活用を図ってきた。 令和6年度は、同時に試行実施している学校間での共同利用により同2校が水泳授業を実施したため、民間プールは活用していない。 [令和4年度] 吉野小学校 3回 [令和5年度] 富津小学校 10回、吉野小学校 10回				

進 捗 状 況	完 了	【市民課・天羽行政センター】 《令和4年度～令和5年度》 人材派遣を受け、マイナンバーカード作成支援等の業務を実施した。[令和5年1月～令和6年3月末]
	継 続	【秘書広報課】 《令和4年度～》 職員の退職により、令和4年度より自動車運転手が1名となったが、新たに職員採用を行わず、常勤特別職（原則市長）と市議会議長の公務が重複した場合の公用車の運転業務については、民間業務委託を活用した。
		【天羽行政センター】 《令和4年度～》 日本郵便㈱への証明書発行業務等の包括事務委託を令和4年4月から開始した。
		【生涯学習課】 《令和5年度～》 令和5年4月1日に開館した富津市立図書館の運営において指定管理者制度を採用、本市図書館施策に基づく運営方針を遵守しつつ、民間事業者の幅広い技術や知識を活かした、効果的・効率的な図書館運営を実施している。

(2)モノ

①公共施設等のマネジメントの推進

実施項目	7. 公共施設再配置の推進				
担当課	財政課、各担当課				
取組内容	公共施設再配置推進計画に基づき、各施設の集約化や複合化、転用廃止など施設の特性に応じた保全、再編に関する個別施設計画を策定し、公共サービスの機能や質の維持・向上を図りながら財政負担の軽減及び平準化を図る。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	推進	→	→	→	→
実施	推進	→	→	→	→
進捗状況	完了	【環境保全課】 《令和4年度》 袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市で共同整備した木更津市火葬場「きみさらず聖苑」が令和4年12月1日に供用開始したことに伴い、令和4年11月末をもって富津聖苑での火葬業務を終了し、施設を廃止した。 《令和5年度》 令和4年11月末をもって火葬業務を終了した旧富津聖苑の解体工事を完了した。 【天羽行政センター】 《令和3年度》 天羽行政センターに機能を集約するため、地域の理解を得ながら、峰上出張所、関豊連絡所、金谷連絡所を廃止した。 《令和5年度》 令和3年度末をもって廃止した旧関豊連絡所の解体工事を完了した。 【保育課】 《令和3年度》 子ども・子育て会議をはじめ、議会全員協議会、パブリックコメントにより意見聴取を行い、令和4年3月に「富津市市立保育所再配置計画」を策定した。 《令和4年度》 「富津市市立保育所再配置計画」に基づき、関係者からの意見等を聴取し、金谷地区における小規模保育事業所兼送迎ステーションの設置場所等について、検討を重ねた。 《令和5年度～令和7年度》 「富津市市立保育所再配置計画」に基づき、金谷地区の再配置について現状を踏まえた課題等を整理するため、金谷保育所入所児童の保護者から意見聴取をしたところ、現計画の内容と保護者が求める内容に乖離があることを把握できたため、引き続き、関係者から意見等を伺い、現計画の見直しも含め再配置を検討していくこととした。 《令和6年度》 「富津市市立保育所再配置計画」の内容を見直すため、全保育所の入所児童保護者をはじめ、関係者から意見聴取を行い、新たな再配置の取組方針、具体的な実施年度等をまとめた「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子」を策定した。 《令和7年度》 令和6年度に策定した「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子」に基づき、令和7年9月に「富津市市立保育所再配置計画」の改定版を策定した。 【公民館】 《令和5年度～令和6年度》 旧峰上地区公民館について、令和5年度に施設解体に向けた設計業務委託を実施した。また、令和6年度は、旧峰上地区公民館解体事業の監理業務委託及び請負事業者による施設解体工事を実施し、事業は全て完了した。			
		【財政課】 《令和3年度～》 個別施設計画が未策定である公共施設や引き続き市で管理していく方針とした地域コミュニティ施設について、個別施設計画の策定等を施設所管課と検討中。 《令和6年度～》 「富津市公共施設等総合管理計画」及び「富津市公共施設再配置推進計画」に基づき、公共施設の保有総量の適正化など、今後の取組に活用することを目的として、「富津市の公共施設再配置に関するアンケート調査」を実施した。 《令和7年度》 公共施設の保有総量の適正化や計画的な保全の推進など、これまでの基本方針を継承したうえで、公共施設ごとの基本的な方針を見直し、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする「富津市公共施設等総合管理計画」を策定した。 【市民課・介護福祉課】 《令和3年度～》 公共施設再配置推進計画に基づき、コミュニティセンター、老人憩の家及びふれあいシニア館の取扱について地域と協議した。令和5年3月に地域への施設譲渡は行わず、施設が利用可能な間は最低限度の維持補修を実施し、施設の安全が確保できなくなった場合は施設の廃止を含めて検討していく方針とした。			

	【公民館】 《令和4年度～》 「公民館のあり方」に基づく施設の建替などを目標とした個別施設計画の推進のため、市民会館の借地購入に係る不動産鑑定を実施し、地権者ごとの評価額を算出したうえで、地権者との交渉を進めている。 《令和7年度～》 市民会館借地の地権者3人と土地売買契約を締結した。地権者のうち1人は令和8年度、他の2人とは令和14年度に土地の引き渡しを受けることとなっている。
--	---

実施項目	8. 公共施設や未利用、低利用土地の有効活用				
担当課	財政課、各担当課				
取組内容	空き公共施設の賃貸・売却により収入を確保するなど、新たな財源の確保を検討し実施する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→

進捗状況	完了	【財政課】 《令和3年度》 未利用土地の売却(富津字八王子 旧砂町保育園跡地) 《令和4年度》 未利用土地の売却(佐貫字松ノ木田 外 旧佐貫運動広場の一部) 《令和5年度》 ・未利用土地の売却(佐貫字西上野原 外 旧家畜診療所敷地の一部) ・未利用土地の売却(富津市青木三丁目)[令和5年度入札、令和6年度収入] 《令和6年度》 ・未利用土地の売却(富津市大堀一丁目 旧バスターミナル用地) [令和6年度公募型プロポーザル実施、令和7年度収入]
	継続	【管財契約検査課】 《令和3年度～》 自動証明写真機を本庁舎1階ロビーに設置し、稼働中。
		【財政課】 《令和3年度～》 旧金谷小学校の利活用事業者を決定し、令和3年11月から貸付を開始した。 《令和4年度～》 ・旧小久保ダムの利活用事業者を決定し、令和4年8月から貸付を開始した。 ・新富の市有地の入札(貸付)を実施し、令和5年1月から貸付を開始した。 《令和5年度～》 ・旧環南小学校の利活用事業者を決定し、令和5年4月から貸付を開始した。 ・旧天羽東中学校の利活用事業者を決定し、令和5年7月から貸付を開始した。 《令和6年度～》 ・旧竹岡小学校の利活用事業者を決定し、令和6年4月から貸付を開始した。
		【保育課】 《令和3年度～》 児童遊園地及び子どもの遊び場について、利用状況等を把握し、管理運営の見直しやあり方を検討していく。また、児童遊園地の借地についても、管理運営の見直しの中で、併せて検討していく。
		【教育総務課】 《令和4年度～》 各小学校に設置しているプールは、一斉に更新時期を迎え、施設の老朽化に伴い多額の修繕費・改修工事費が見込まれることから、夏季の約1か月のみの稼働となる学校プールを学校単位で維持するのではなく、学校間において共同利用をすることで施設の有効活用を図った。実施に当たっては、児童数や当該学校間の距離等を考慮するとともに、移動手段は生涯学習バス及びスクールバスを利用した。 [令和4年度] 富津小学校⇒佐貫小学校プールを共同利用 8回 [令和5年度] 実績なし [令和6年度] 富津小学校⇒飯野小学校プールを共同利用 5回 吉野小学校⇒佐貫小学校プールを共同利用 8回 [令和7年度] 富津小学校⇒飯野小学校プールを共同利用 5回 吉野小学校⇒佐貫小学校プールを共同利用 10回

新規	【財政課】 《令和7年度》 ・未利用土地(大堀二丁目1番3.4)[旧青堀分館敷地]を売却するため、令和7年8月に一般競争入札を実施し、令和7年9月に契約を締結した。
----	--

実施項目	9. 広告収入事業の拡大				
担当課	財政課、各担当課				
取組内容	市ホームページや広報誌などの刊行物、封筒やパンフレット等の印刷物、公共施設への広告掲示やネーミングライツ(命名権)などを活用した広告収入事業の拡大を行う。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→

進捗状況	継続	【秘書広報課】 《令和3年度～》 市ホームページのトップページへバナー広告を掲載(1枠5,000円/月)し、広報紙の紙面の一部を広告代理店に売却した。また、企業にPRの場を提供することにより地域の活性化を図るとともに広告収入を確保した。 ＜ホームページバナー広告掲載＞ [令和3年度] 480,000円 [令和4年度] 590,000円 [令和5年度] 600,000円 [令和6年度] 690,000円 [令和7年度] 615,000円 ＜広報紙への広告掲載＞ [令和3年度] 契約期間: 令和3年9月号～令和4年4月号、契約金額: 88,000円/年 [令和4年度] 契約期間: 令和4年5月号～令和5年4月号、契約金額: 198,000円/年 [令和5年度] 契約期間: 令和5年5月号～令和6年4月号、契約金額: 266,640円/年 [令和6年度] 契約期間: 令和6年5月号～令和7年4月号、契約金額: 326,480円/年 [令和7年度] 契約期間: 令和7年5月号～令和8年4月号、契約金額: 267,751円/年
		【財政課】 《令和3年度～》 ネーミングライツ事業推進のため、市ホームページの掲載や企業へのチラシ配布によりパートナーを随時募集した。 【都市政策課】 《令和3年度～》 ネーミングライツ事業の実施により収入を確保した。 なお、令和7年2月28日付けで、同施設に係るネーミングライツ契約を更新した。 ・施設名: 市民ふれあい公園「臨海野球場」及び「臨海陸上競技場」 ・愛称: NIPPON STEEL野球場、NIPPON STEEL陸上競技場 ・パートナー: 日本製鉄(株)技術開発本部及び日鉄テクノロジー(株)研究試験事業所 ・契約期間: 令和2年3月～令和7年2月(契約終了) ・契約金額: 1,000,000円/年 令和元年度は83,332円、令和6年度は916,668円 ・契約期間: 令和7年3月～令和9年3月(令和6年度更新・対象施設の指定管理期間とした。) ・契約金額: 1,000,000円/年 令和6年度は83,333円

実施項目	10. 使用料・手数料の見直し				
担当課	経営改革・DX推進課、各担当課				
取組内容	応益負担の原則、受益者・非受益者の負担の公平性などに留意し、事業コストを踏まえた適正な水準を維持するため[使用料・手数料見直し基本方針]に基づき、定期的に見直しを実施する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	見直し			見直し	
実施	未実施	検討推進	→	→	→

進捗状況	継続	【経営改革・DX推進課】 《令和3年度～》 使用料・手数料や減免規定の適正な水準に係る「使用料・手数料算定の基本方針」の策定を検討している。 《令和6年度～》 使用料・手数料や減免規定の適正な水準に係る「使用料・手数料算定の基本方針」の策定に向け準備を進めている。
------	----	---

(3) カネ

①自主財源の積極的な確保

実施項目	11. 市税等徴収率の向上				
担当課	納税課、各担当課				
取組内容	適正公平な市税賦課のもと、税負担の公平性の確保の観点から、納付しやすい環境の整備による納期内納付の推進や滞納者に対する徴収対策を強化する。 また、市税に対する滞納処分に併せて、保険税・保険料の未納付についても適切な滞納処分を行い、市税等全体の徴収率の向上に向け取組む。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	継続	【財政課・納税課・国民健康保険課・介護福祉課】 ＜令和4年度～＞ 後期高齢者医療保険料及び介護保険料について、所管課で徴収が困難と認められる者で、市税を滞納している者の収納業務を納税課に移管し、滞納市税と併せて納付相談や滞納処分を実施する。 ＜令和4年度実績＞ 対象者数7人(内訳 介護4人、後期3人)・実人数5人 差押件数4件、換価金額506,646円 ＜令和5年度実績＞ 対象者数22人(内訳 介護13人、後期9人)・実人数22人 差押件数22件、換価金額1,069,553円 ＜令和6年度実績＞ 対象者数27人(内訳 介護16人、後期11人)・実人数21人 差押件数27件、換価金額711,648円 ＜令和7年度実績＞ 対象者数26人(内訳 介護18人、後期8人)。実人数23人。差押件数11件、換価金額1,069,010円			
		【納税課】 ＜令和3年度～＞ ・市税について、納期限を広く周知するとともに、口座振替、コンビニ納付、LINEPayによる納付、夜間納付窓口の開設により、納付環境の整備に努めた。 ・滞納者には、早期に催告書を発送し納付を促すとともに、滞納処分を実施し滞納額の縮減を図った。 ＜令和4年度～＞ 滞納者の財産調査に係る金融機関への預貯金照会業務について、オンライン化によるシステム処理が可能となるpipitLINQ(ピピットリンク)を導入し、財産調査の強化及び事務処理等にかかる業務効率化を図った。 ＜令和5年度～＞ 「地方税共同機構」の運営する「地方税お支払いサイト」が開始されたことにより、全国统一QRコード対応金融機関での納付、クレジットカード、インターネットバンキングを利用した納付及びQRコードをスマホ決済アプリから直接読み込んだの納付も可能となり、納付環境の充実が図られた。 ＜令和7年度～＞ ・財産調査業務において導入したpipitLINQ(ピピットリンク)において、預貯金照会に加え、生命保険契約のオンライン調査が可能となり、財産調査の範囲が拡充した。 ＜令和3年度実績＞ 差押件数780件 換価金額67,966,903円(うち公売落札価額2,615,505円) 財産調査21,395件(延べ4,770人) ＜令和4年度実績＞ 差押件数787件 換価金額77,467,089円(うち公売落札価額57,553円) 財産調査39,110件(延べ6,380人) ＜令和5年度実績＞ 差押件数864件 換価金額74,598,847円(うち公売落札価額5,800円) 財産調査36,161件(延べ 5,929人) ＜令和6年度実績＞ 差押件数 784件、換価額 66,139,129円(うち公売 1,011,000円)、財産調査 37,608件(延べ 4,939人) ＜令和7年度実績＞ 差押件数 593件、換価額 53,160,860円(うち公売 1,460,787円)、財産調査 51,702件(延べ 5,574人)			
		【国民健康保険課】 ＜令和3年度～＞ 後期高齢者医療保険料について、年齢到達者の資格確認書等送付にあたり、口座振替申込書の同封による口座振替の勧奨を実施した。 滞納者に対しては、督促状の発送、文書・電話催告、臨戸訪問、夜間納付相談を実施。滞納者と接触の機会を確保し、徴収率の向上を図っている。			
		【介護福祉課】 ＜令和3年度～＞ 介護保険料について、督促状の発送、文書・電話催告・預金差押え等の滞納処分を実施するとともに、未納累積者に対し、給付制限の決定通知を送付し、納付及び納付相談を促した。			

進 捗 状 況	継 続	【国民健康保険課・介護福祉課】 《令和5年度～》 後期高齢者医療保険料及び介護保険料のコンビニ並びにスマホ決済アプリによる納付方法を導入し、納付機会の拡充により被保険者の利便性及び徴収率の向上を図った。[令和5年7月～]
		【保育課】 《令和4年度～》 公私立保育所の保育料並びに公立保育所給食費(3歳児以上)のコンビニ及びスマホ決済アプリによる納付方法拡充を実施した。[令和4年9月～] 《令和5年度～》 公立保育所給食費(3歳児以上)の口座振替を開始した。[令和5年10月～]
		【学校教育課】 《令和4年度～》 令和5年1月分の学校給食費から口座振替及びコンビニ、スマホ決済アプリによる納付方法拡充を実施した。[令和5年2月～] 《令和5年度～》 ・学校給食費口座振替未登録者へ納付書送付時に口座振替依頼書を同封し、口座振替の推奨を実施した。 ・学校給食費の滞納者に対し、口座引落不能通知及び督促状の発送、電話催告、臨戸訪問、催告書の送付を実施し、納付を促す。 ＜令和5年度実績＞ 令和5年5月催告書送付、令和5年10月・12月に臨戸訪問を実施した。 ＜令和6年度実績＞ 令和6年5月・9月・1月に臨戸訪問を実施し、令和6年7月・12月に催告書を送付した。また、令和6年7月・9月・10月・12月に学校にて納付相談を実施した。 ＜令和7年度実績＞ 令和7年5月・令和8年1月に臨戸訪問を実施した。令和7年7月・12月に催告書を送付した。また、令和7年9月に学校にて納付相談を実施した。さらに、支払督促の申立を2件3名実施し、取組中。

実施項目		12. ふるさとつつ応援寄附の強化					
担当課		企画課					
取組内容		寄附傾向の徹底した分析による有効なPRやリピーター獲得の強化に努め、一層の増加を目指す。 また、企業版ふるさと納税やふるさと納税をきっかけに、富津市に興味・関心を持っていただけるような取組など、新たな寄附者獲得につなげる。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		実施	→	→	→	→	
実施		実施	→	→	→	→	
進捗状況	継続	【企画課】 《令和3年度～》 ・ポータルサイトへのWeb広告、チラシの配布、メールマガジンの配信、返礼品のサンプル展示、イベント出展等のPRを実施した。 ・新規ポータルサイトの取扱開始、新規返礼品の追加等、寄附増加につながる取組を随時実施した。 ・企業版ふるさと納税については、本市にゆかりのある企業を積極的に訪問するほか、チラシ配布を行い、賛同していただける企業を募った。 ●ふるさとつつ応援寄附実績 単位：円					
		項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		ふるさと納税	326,108,000	297,011,000	224,620,000	155,323,000	238,269,800
		企業版ふるさと納税	43,800,000	59,900,000	27,600,000	44,600,000	38,900,000
		合 計	369,908,000	356,911,000	252,220,000	199,923,000	277,169,800

実施項目	13. 企業誘致の推進				
担当課	財政課、各担当課				
取組内容	都心からの交通アクセスや豊かな自然環境など、本市の優れた特性や地域資源を積極的にアピールし、市内未利用地や閉校施設等へ企業を誘致することで、産業の振興及び雇用の促進に加え、地域の活性化を目指す。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	継続	【財政課】 《令和3年度～》 旧金谷小学校の利活用事業者を決定し、令和3年11月から貸付を開始した。(再掲) 《令和4年度～》 ・旧小久保タムの利活用事業者を決定し、令和4年8月から貸付を開始した。(再掲) ・新富の市有地の入札(貸付)を実施し、令和5年1月から貸付を開始した。(再掲) 《令和5年度～》 ・旧環南小学校の利活用事業者を決定し、令和5年4月から貸付を開始した。(再掲) ・旧天羽東中学校の利活用事業者を決定し、令和5年7月から貸付を開始した。(再掲) 《令和6年度～》 ・旧竹岡小学校の利活用事業者を決定し、令和6年4月から貸付を開始した。(再掲) 【商工観光課】 《令和3年度～》 企業誘致奨励制度について周知するとともに、関係課及び関係機関と連携し、未利用地や進出企業に関する情報など、関連する情報について共有を図ることとしている。 【農林水産課・農業委員会】 《令和3年度～》 果樹生産団地用地を探していた農業法人へ、大佐和地区農地の情報提供を行った結果、進出が決定し、企業誘致及び農地の有効利用が図られた。 【農林水産課】 《令和4年度～》 大佐和地区で果樹生産を行う農業法人に対して、経営規模拡大に伴う補助事業の活用や農地集積に係る支援を実施した。			
	新規	【商工観光課】 《令和7年度～》 京葉臨海コンビナートにおけるGX(グリーントランスフォーメーション)を実現するため、千葉県や立地企業、関係行政機関による京葉臨海コンビナートGX推進会議が新たに発足し、本市も同会議に参画し、取り組みを推進していくこととした。 GXに向けた取組を通して、関係機関が連携し、さらなる産業振興を図るものであり、GX分野での産業クラスターが新たに形成されることによる事業の創出や企業の進出が期待される。			

実施項目	14. 新たな資金調達手段の検討				
担当課	企画課、各担当課				
取組内容	クラウドファンディングなど新しい資金調達の手法を調査研究し、新たな収入の可能性を探る。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	調査・研究	実施	→	→	→
実施	調査・研究	実施	→	→	→
進捗状況	完了	【企画課・生涯学習課】 《令和4年度》 ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングとして、自治体が地域の抱える課題やまちづくりに関するプロジェクトに対して寄附を募るガバメントクラウドファンディング(GCF)を実施し、市立図書館の開館に向け所蔵図書を購入した。 ・プロジェクト名:「図書館整備事業」 ・募集期間:令和4年10月7日～12月31日 ・目標金額:10,000,000円 ・寄附金額:2,525,000円(29件)			

進捗状況	完了	【教育総務課】 ＜令和5年度～令和6年度＞ 市内中学校で故障・老朽化している楽器を更新するため、ふるさと納税制度の仕組みを活用した「楽器寄附ふるさと納税」を令和5年度に開始し、全国から休眠楽器の寄附を募集した。 ＜令和5年度＞ 3種類の楽器を募集 アルトサックス1台受納 ＜令和6年度＞ 6種類の楽器を募集 寄附申込なし
	継続	【企画課】 ＜令和3年度～＞ 他団体の先進事例などについて、調査・研究中。 【こども家庭課】 ＜令和5年度～＞ 公共施設等で配布している生理用品について、寄附に賛同する企業を募り、希望する自治体に寄附を行う「生理の貧困対策支援プロジェクト」に申込みを行い、寄附を受け、公共施設等で配布した。

②事務事業の効率化・合理化

実施項目		15. 事務事業の見直し				
担当課		経営改革・DX推進課、各担当課				
取組内容		事務事業について、目的、効果及び達成度の観点から不断に見直しを行い、現状の社会情勢に見合っていないと判断される場合は、早急に廃止を含む再構築を図る。				
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		実施	→	→	→	→
実施		実施	→	→	→	→
進捗状況	完了	【経営改革・DX推進課】 ＜令和6年度～＞ ・効率的な行政運営と行政サービスの向上を目指し、職員提案や実績報告を幅広く募集するため、制度の見直しをするともに規程の一部改正を行った。 ・現行の報償費支給基準について、国の標準支払基準や市の非常勤職員に係る報酬条例の改正や最低賃金及び職種についても社会的な変化が見られることから、支給基準の見直しを行った。				
	継続	【経営改革・DX推進課】 ＜令和3年度～＞ より効果的・効率的に目的を達成するため、事業シートを活用したPDCAサイクルを毎年度実施することで、コストや成果を検証し、見直し内容について、次年度当初予算要求に反映する。				
		【保育課】 ＜令和4年度～＞ 児童遊園地及び子どもの遊び場に係る利用状況等の整理に取り組んでいる。今後、子どものための施設に拘らない活用方法について、ワークショップ等を通じて地域住民とともに検討していく。 ＜令和6年度～＞ 「児童遊園地及び子どもの遊び場に係る管理運営の見直し方針」の策定に取り組んだ。 今後は、関係部署と連携し、児童遊園地等を含めた市全体における公園の適切な在り方について検討を進める。 ＜令和7年度～＞ 児童遊園地及び子どもの遊び場を含めた市全体の公園のあり方について、関係所管課と今後の方向性を共有した。今後、活用方法を見直すこととした児童遊園地や子どもの遊び場について、ワークショップ等による住民意見の聴取に着手し、活用方法を整理していく。				
		【社会福祉課】 ＜令和6年度～＞ 福祉・国保・介護ガイドブックを廃止し、代替事業（支援）として、市民が誰でも気軽に相談できる、市の包括的な支援体制・相談窓口を広く周知するため、福祉の困りごと相談窓口ポスターを作成した。 作成したポスターについては、区長回覧を活用し、全戸配付を実施。併せて、本庁窓口や公民館等にも配置し、市民への周知を図った。				

実施項目	16. 補助金等の見直し				
担当課	財政課				
取組内容	補助事業の効果・成果等を精査したうえで、役割を終えた補助金については廃止し、新たな行政課題に合った補助制度への柔軟な対応を行う。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	【財政課】 《令和3年度～》 効果の薄れた補助金等の廃止や縮小を検討するため、当初予算編成過程において、行政として支出すべき必要性、費用対効果、経費負担のあり方を基に査定を行う。 また、必要な行政課題に対応する補助制度を併せて検討していく。				

実施項目	17. 積極的なICTの活用				
担当課	経営改革・DX推進課、各担当課				
取組内容	最大限ICTを活用し、職員が付加価値の高い業務に専念できる環境構築や市民サービスの向上を目指す。特に、定期的な作業を中心に、AI及びRPA(ソフトウェアロボットによる業務自動化)の積極的な導入を図り、「作業時間の短縮(効率化)」と「ミスの少ない正確で的確な処理」を実現する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	検討	実施	→	→	→
実施	検討	実施	→	→	→

進捗状況	完了	【市民課・天羽行政センター】 《令和3年度～令和5年度》 令和6年3月末をもってタブレット端末を活用したマイナポイントの申し込み手続きを終了。 【企画課】 《令和3年度～令和5年度》 イベント等でふるさと納税PR用動画やポータルサイトの案内などにタブレット端末を活用した。
	継続	【総務課】 《令和4年度～》 会議資料のペーパーレス化や事務作業の軽減などを図るため、市議会議員及び課長級以上の執行部職員にタブレット端末を貸与し、富津市議会の本会議や全員協議会、庁議等で使用する会議資料のデータ配布等に活用している。 《令和5年度～》 職員採用について、必要人数の確保を図るため、オンラインによる申込みを行っている。 【秘書広報課】 《令和3年度～》 ・市ホームページのリニューアルに伴い、人工知能チャットボットを導入した。市民等からの基本的な問合せに24時間迅速に自動応答できることとなり、市民サービスの向上を図るとともに、電話や窓口での問合せ数の減少による職員の定型的業務の負担軽減を図る。 ・市ホームページに導入した人工知能チャットボットへのアクセス記録を検証し、市民等からの想定される質問及びそれに対する回答の登録件数を増やすことで、回答精度の向上を図った。 ＜登録件数＞ 令和3年9月運用開始時 772件 令和5年3月末時点 907件 令和5年9月末時点 953件 令和6年3月末時点 995件 令和6年9月末時点 1,007件 令和7年3月末時点 1,020件 令和8年3月末時点 1,034件 【経営改革・DX推進課】 《令和4年度～》 ・アンケート調査や各種申請受付などをオンラインで行うためのツール「LoGoフォーム」により、集団検診の予約や職員採用試験の申込、子ども医療費助成申請などをスマートフォンやパソコンからのオンライン申請を受け付けている。 ・AI等を活用し、自動で会議音声の文字起こしを行う会議録作成支援システム「ログミーツ」を活用し会議録作成に係る事務の軽減を図る。 ・マイナポータルを活用し、行政手続きをオンライン化することにより、市民サービスの向上を図っている。 ＜令和4年度実績＞ 令和5年2月から転出・転入手続きのオンライン手続きを開始した。 （令和5年度実績） 令和5年7月から子育て・介護分野の26手続について、オンライン手続きを開始した。

進 捗 状 況	継続	【市民課・天羽行政センター】 《令和3年度～》 マイナンバーカードの申請受付時に、タブレット端末を活用し、市民サービスの向上並びに事務の効率化を図った。 【環境保全課】 《令和5年度～》 市民への積極的な情報発信及び市民の利便性向上並びに廃棄物の分別の徹底・再資源化の推進を目的に、ごみの収集日や分別方法など、ごみに関する情報を市民にお知らせするスマートフォン向けアプリ「さんあ〜る」を令和5年6月に導入した。（令和8年3月末時点 登録者数2,877人 総アクセス数133,866） 【健康づくり課】 《令和3年度～》 外国人や聴覚障がい者向け翻訳サービスや保健指導の訪問先での説明用資料の提示にタブレット端末を活用した。 【消防総務課】 《令和3年度～》 ・タブレット端末を現場から本部へ画像や映像を送信するなどの情報連携及び救急医療ネットへの搬送状況の入力に活用している。 ・タブレット端末を消防本部のweb会議に活用している。 【市民課・課税課・納税課】 《令和6年度～》 住民票の写しや戸籍、税に関する証明書の交付申請手続きについて、マイナンバーカードを活用したマイナポータルを通じてオンライン申請が可能となる「ぴったりサービス」を導入した。（令和6年7月開始） 【保育課】 《令和6年度～》 保育士が働きやすい環境を整備し、保育士業務の負担軽減及び保育の質の向上並びに保護者負担の軽減を図るため、市立保育所に保育ICTシステムを導入した。（令和7年2月1日から稼働） 今後は、システム機能の拡充により、保育士の更なる業務の効率化や保護者の利便性向上に取り組んでいく。 《令和7年度～》 令和6年度に導入した保育ICTシステムの各種機能（連絡帳、お知らせ、帳票）の運用を段階的に開始し、保育士業務の負担軽減及び保護者の利便性向上に取り組んだ。 【社会福祉課】 《令和6年度～》 物価高騰対応重点支援給付事業において、公金受取口座の活用、電子申請の導入により、市民の受給手続きの簡略化を図るとともに、迅速かつ正確な給付事務の実現及び受付事務における負担軽減を引き続き行った。 【選挙管理委員会】 《令和6年度～》 長期出張等により滞在地で不在者投票を行う場合における不在者用投票用紙等の請求について、マイナポータルを通じたオンライン請求を可能とし、有権者の利便性向上に取り組んでいる。
	新規	【経営改革・DX推進課】 《令和7年度～》 ・事務の効率化を図るため、「対話型生成AIサービス活用ガイドライン」を策定し、生成AIの本運用を開始した。 ・庁内や他自治体と迅速に情報共有を図り、業務の効率化を図ることができるビジネスチャットツール「LoGoチャット」を導入し、係長級以上の職員へアカウントを配布した。

実施項目		18. 繰出金等の見直し				
担当課		財政課、各担当課				
取組内容		特別会計や公営企業等の経営改善、収入の適正化等への取組みの現状を踏まえ、効果・成果等を精査したうえで、毎年度見直しを行う。				
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		見直し	→	→	→	→
実施		見直し	→	→	→	→
進 捗 状 況	継続	【財政課】 《令和3年度～》 当初予算編成において、経費節減や事務事業の合理化・効率化の観点から、事業シートを活用した予算査定を行った。 【国民健康保険課】 《令和3年度～》 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計への各種繰出金は、法令等に基づき適正な額で算定している。また、事務費繰出金についても支出内容を適正に管理している。				

	【介護福祉課】 ＜令和3年度～＞ 介護保険事業特別会計への各種繰出について、法令に基づく負担割合分を適正に算定している。なお、事務費繰出金についても、支出内容を適正に管理している。
--	--

③持続可能な財政運営の確立

実施項目	19. 中期収支見込み				
担当課	財政課				
取組内容	毎年度、前年度の決算状況や最新の情報等を基に中期収支見込みの見直しを行い、計画の正確性を確保するとともに健全な財政運営を推進する。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	【財政課】 ＜令和3年度～＞ 「富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】(令和3～7年度)」の第5章・財政見通しについて見直しを行い、収支均衡を図った「富津市中期収支見込み(令和4～8年度)」を作成した。 ＜令和4年度～＞ 「富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】(令和3～7年度)」の第5章・財政見通しについて、最新の情報等を基に見直しを行い、収支均衡を図った「富津市中期収支見込み(令和5～9年度)」を作成した。 ＜令和5年度～＞ 「富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】(令和3～7年度)」の第5章・財政見通しについて、最新の情報等を基に試算した結果、一部の普通建設事業を休止するなど、実施事業の見直しを行い、収支均衡を図った「富津市中期収支見込み(令和6～10年度)」を令和5年9月に作成した。 ＜令和6年度～＞ 「富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】(令和3～7年度)」の第5章・財政見通しについて、最新の情報等を基に、昨年度に一時休止とした普通建設事業を財源の見通しを立てたうえで計画するなど、実施事業の見直しを行い、収支均衡を図った「富津市中期収支見込み(令和7～11年度)」を令和6年9月に作成した。 ＜令和7年度～＞ 「富津市中期財政計画【経営改革5か年計画】(令和3～7年度)」の第5章・財政見通しとして、最新の情報等を基に収支均衡を図った「富津市中期収支見込み(令和8～12年度)」を令和7年9月に作成した。				

実施項目	20. 財政調整基金の適正管理				
担当課	財政課				
取組内容	年度間の財源調整や大規模な災害等に備えるため、毎年度末の基金残高を、目標額の22億円以上を確保するよう努める。				
	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施	→	→	→	→
実施	実施	→	→	→	→
進捗状況	【財政課】 ＜令和3年度～＞ 財政調整基金は、平成27年度以降、前年度決算剰余金の一部を確実に積み立ててきたことにより増加している。今後も、不測の事態への対応や年度間の財源調整機能として活用するため、一定水準の基金残高を確保していく。(令和7年度末目標額:22億円以上) 令和7年度は、令和6年度決算剰余金の一部として4.6億円を積み立て、また、6.5億円を取崩す予定であったが、取崩しを2.0億円抑制したことなどにより、令和7年度末残高は前年度比0.2億円減の26.4億円となった。 ・令和3年度末残高:25.0億円 ・令和4年度末残高:26.8億円 ・令和5年度末残高:28.4億円 ・令和6年度末残高:26.6億円 ・令和7年度末残高:26.4億円				

実施項目		21. 市債発行額の抑制				
担当課		財政課				
取組内容		臨時財政対策債を除く地方債は、事業の優先度を見極めることなどにより発行額の抑制に努める。 また、借入にあたっては、地方交付税措置率や利率、償還年限など条件を精査し、より負担の少ない方法を選択する。 臨時財政対策債は、発行可能額の全額を借り入れるのではなく、当該年度の決算見込みを勘案し発行額の抑制に努める。				
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		実施	→	→	→	→
実施		実施	→	→	→	→
進捗状況	継続	【財政課】 《令和3年度～》 交付税措置の無い市債は、決算見込みの状況を勘案し、毎年度1億円から2億円程度の借入を抑制するとともに、交付税措置のある有利な市債の活用に努め、公債費が将来世代に過大な負担とならないよう配慮していく。（令和7年度末目標額：180億円以下） 令和7年度は、大佐和中学校屋内運動場整備の財源として5.4億円を借入れたが、2.3億円の借入を抑制したことなどにより、令和7年度末残高は前年度比0.5億円減の164.0億円となった。 ・令和3年度末残高：155.4億円 ・令和4年度末残高：155.9億円 ・令和5年度末残高：154.7億円 ・令和6年度末残高：164.5億円 ・令和7年度末残高：164.0億円				

実施項目		22. 公共施設等マネジメント基金の活用・適正管理				
担当課		財政課				
取組内容		公共施設等総合管理計画及び公共施設再配置推進計画に基づいた長寿命化のための保全や、施設総量縮減のための建物の統廃合、除却等の公共施設等のマネジメントを推進する財源として本基金を有効に活用する。				
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		実施	→	→	→	→
実施		実施	→	→	→	→
進捗状況	継続	【財政課】 《令和3年度～》 公共施設等のマネジメントを推進するため、各年度、当初予算額に加え、決算見込み状況により追加計上を行った。今後も中期財政計画に基づき、積み立てを行うとともに、基金の目的に沿った公共施設の改修や修繕等に活用していく。 令和7年度は、積立金は当初予算額の0.1億円に加え、決算見込みの状況を勘案し1億円を増額したが、青堀小学校改築の実施設計や道路維持事業などの財源として2.1億円を活用したため、令和7年度末残高は前年度比1.0億円減の10.7億円となった。 - 令和3年度末残高：9.9億円 - 令和4年度末残高：13.7億円 - 令和5年度末残高：13.9億円 - 令和6年度末残高：11.7億円 - 令和7年度末残高：10.7億円				